

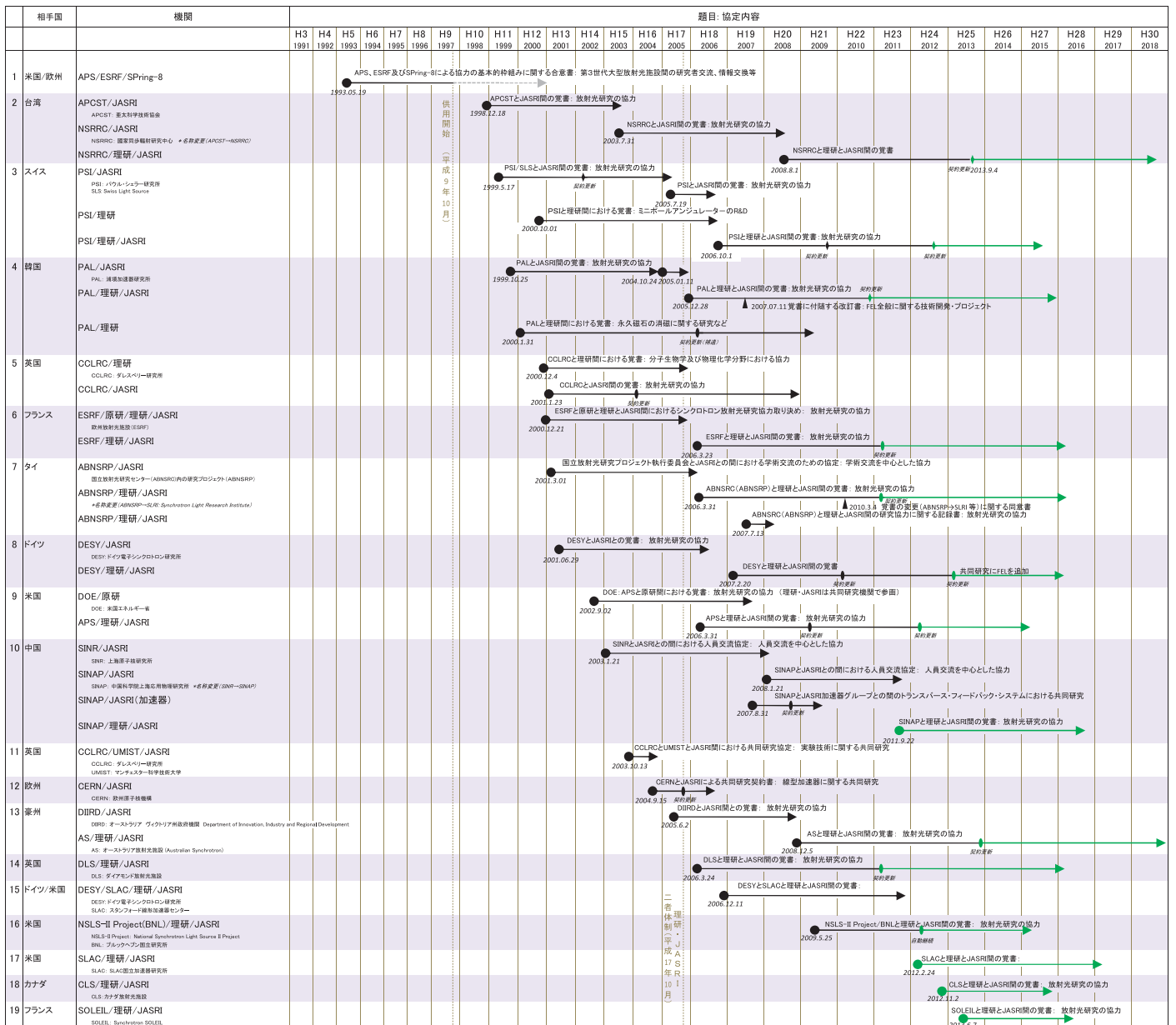
# 6. 国際協力

2013年度は、Synchrotron SOLEIL (SOLEIL、フランス) と新たに覚書を締結した。2013年度末時点、海外の11カ国・14機関との間に覚書を締結し、放射光研究の協力、研究所間の情報交換、研究者の交流等を実施している。

11カ国：  
 (アジア・オセアニア) 台湾、韓国、タイ、中国、オーストラリア 計5カ国  
 (欧米) スイス、英国、ドイツ、フランス、米国、カナダ 計6カ国

協定等を締結した放射光施設、また研究協力の関係にある放射光施設等との2013年度における具体的な協力は以下のとおり。

SPRING-8 (JASRI) における国際協力協定



\* 覚書の詳細が明記されていない場合、通常では「放射光の協力」とは「情報交換、人員交流など」になる。  
 \*2005年10月からの理研/JASRIによる二者体制に伴い、各放射光施設と覚書を新たに締結。

### 1. APS/米国アルゴンヌ国立研究所 (APS/ANL、米国)・欧州放射光施設 (ESRF、フランス)・ドイツ電子シンクロトロン研究所 (DESY、ドイツ)

第14回を迎えた大型放射光施設による ESRF - APS - SPring-8 三極ワークショップが2013年8月1日(木)・2日(金)、APSに於いて、第12回以降参加している DESY の大型放射光施設、PETRA III を含めた4施設の研究者が集まり開催された。ワークショップの冒頭では、各施設の現状報告とともに、各施設が進める高度化計画、将来計画が報告された。SPring-8からは、前回ワークショップからの進展として2.4 nmradのエミッタンスによる運転、XSBTの完成、蓄積リングの冷却システムの刷新による消費電力の低減などの報告とともに、SPring-8-II計画のデザイン等が紹介された。また、第7回以降、毎回サテライトワークショップとして行われている“Three-way X-ray Optics Workshop”が2日間にわたり開催された。次回は、SPring-8での開催が予定されている。

### 2. パウル・シェラー研究所 (PSI、スイス)

2011年度より次世代検出器開発として、PSIで開発されたマイクロストリップ検出器 MYTHEN (Microstrip System for Time Resolved Experiments) に SPring-8 の CdTe ピクセル検出器技術を融合した CdTe-MYTHEN 検出器の開発を共同で行っている。

### 3. 台湾・国家同步輻射研究中心 (NSRRC、台湾)

NSRRC との放射光に関する共同研究協力覚書の満了に伴い、9月に、さらに5年間の覚書を締結した。

### 4. オーストラリア放射光施設 (AS、オーストラリア)

AS との放射光に関する共同研究協力覚書が2013年12月で満了となり、さらに5年間の覚書を締結した。

### 5. Synchrotron SOLEIL (SOLEIL、フランス)

これまでさまざまな共同研究を行ってきた、フランスの国立放射光施設、Synchrotron SOLEIL と、SPring-8 (RIKEN 及び JASRI) 間にて、共同研究等の推進を目的に、放射光に関する包括的な協定を2013年6月に新たに締結した。MoU 調印式は、フランス大使館で開催された第8回日仏科学技術合同委員会において、フランスの高等教育研究大臣ならびに日本からは科学技術政策担当大臣同席のもと、執り行われた。

2014年度は、協定に基づき、フランス大使館において、日仏放射光ワークショップの開催が予定されている。

### 6. 放射光科学アジアオセアニアフォーラム (AOFSSR)

アジア・オセアニア地域における放射光科学技術提携では、「第7回放射光科学アジアオセアニアフォーラム2013

ワークショップ「AOFSSR2013」が、9月21日(土)～24日(火)の間、姫路において開催された。2013年度は、2007年より毎年SPring-8で開催されている、アジア・オセアニア地域における放射光科学及び放射光利用研究に携わる国際的人材の育成を目的とした「第7回放射光科学アジアオセアニアフォーラム-ケイロンスクール2013」とジョイントさせ、9月21日(土)からスクール終了の10月3日(木)までを「アジア・オセアニアウィーク」と称した。

「AOFSSR2013」には、約160名の参加があり、各施設の現状報告が行われるとともに、最新の研究成果の発表が行われ、また、ケイロンスクールの参加者はポスター発表を行った。また、AOFSSR加盟国及び準加盟国の代表による評議委員会が行われ、今後のアクションプランに関する議論が行われた。

「ケイロンスクール2013」は、9月24日(火)～10月3日(木)に開催され、AOFSSR加盟国に、準加盟国であるニュージーランド、マレーシア、ベトナムを加えた11カ国から67名の若手研究者・学生が参加した。講師にはアジア・オセアニア地区からだけでなく、欧米の著名な研究者も招待しており、2013年度はUniversity of California, Berkeley (UC Berkeley、米国)、カナダ放射光施設 (CLS、カナダ) の研究者が講義を行った。

研究調整部  
鈴木 昌世